

区分34	専門分野 病理学的検査	授業科目名	病理検査学実習	単位数	2単位 (60時間)
開講時期	2年 前期	担当教員	諸隈 博	担当教員の 実務経験	有 無 ○ 無
◆実務経験の内容 ・臨床検査技師生活の中で約30有余年の病理組織学的検査業務(病理解剖、細胞診含む)に従事し、基礎的な解剖学・組織学・病理学を理解し、臓器の固定・包埋・薄切・染色等の経験を有する。					
◆授業の目的・目標 ①病理組織学的検査の目的と実際を理解する。 ②組織染色に必要な正常組織像を理解する。 ③病理組織学的検査のための組織染色の重要性を理解する。 ④技師としての必要な薄切、染色、鏡検実習等を通じて臨地実習に必要な基礎技術を養う。 ⑤その他免疫組織科学的染色、術中病理診断、電子顕微鏡、病理解剖、病理検査室の管理についての知識を習得する。					
◆授業の概要・授業方針 ①「病理検査学実習」に必要な基礎的な組織像を講義で理解する。 ②教科書・作成資料を基に講義および病理検査学実習を行う。 ③実習は班単位で行い、お互い教え合えるような学習体制を整える。 ④また、次年度の臨地実習・国家試験を十分に意識した授業を展開する。					
◆テキスト・参考資料等 ・最新臨床検査学講座 病理学/病理検査学 ・最新染色法のすべて ・講師作成資料 など			◆成績評価の方法 ・出欠状況 ・定期試験		
授業計画					チェック欄
第1回	病理組織学的検査の意義と概要 病理組織学的検査に必要な正常組織像①				
第2回	病理組織学的検査に必要な正常組織像②				
第3回	病理組織学的検査に必要な正常組織像③				
第4回	組織像の鏡検				
第5回	病理組織標本作製の手順(固定～薄切) 凍結切片標本作製①				
第6回	病理組織標本作製の手順(固定～薄切) 凍結切片標本作製②				
第7回	実習:薄切①				
第8回	実習:薄切②				
第9回	染色前後の操作(脱パラ、脱水、封入)				
第10回	ヘマトキシリン・エオジン(HE)染色				
第11回	実習:HE染色①				
第12回	実習:HE染色②				
第13回	特殊染色①結合組織、多糖類				
第14回	特殊染色②線維素、組織内無機物、生体内色素				
第15回	実習:Azan染色、MT染色①				
第16回	実習:Azan染色、MT染色②				
第17回	実習:鏡検				
第18回	実習:鏡検				
第19回	特殊染色③(神経組織、脂肪)				
第20回	特殊染色④(アミロイド、核酸、組織内病原体、内分泌細胞)				
第21回	実習:PAS反応、Alcian blule 染色①				
第22回	実習:PAS反応、Alcian blule 染色②				
第23回	実習:Berline blue染色、Congo red染色①				
第24回	実習:Berline blue染色、Congo red染色②				
第25回	免疫組織学的染色①				
第26回	免疫組織学的染色②				
第27回	実習:鏡検				
第28回	実習:鏡検				
第29回	電子顕微鏡、病理解剖、病理検査室の管理				
第30回	まとめ				